

中国 = 第 3 四半期、8.9%の経済成長 = 1~9 月インフラ投資が 53%増

中国国家统计局は 10 月 22 日、第 3 四半期の GDP（国内総生産）が昨年同期比 8.9%増だったことを明らかにした。1~9 月の GDP は 7.7%増の 21 兆 7817 億元だった。四半期別にみると第 1 四半期が 6.1%増、第 2 四半期が 7.9%増である。産業別では第 1 次産業が 4.0%増の 2 兆 2500 億元で、第 2 次産業が 7.5%増の 10 兆 6477 億元、第 3 次産業が 8.8%増の 8 兆 8840 億元だった。

社会固定資産投資は 33.4%増の 15 兆 5057 億元だった。うち都市部は 33.3%増の 13 兆 3177 億元で、農村は 33.6%増の 2 兆 1880 億元である。インフラ投資（電力は含まず）は 52.6%増と大幅な伸びを示した。

社会的消費財小売総額は 15.1%増の 8 兆 9676 億元で、物価要因を除いた実質伸び率は 17.0%だった。消費者物価指数は 1.1%下落した。うち都市は 1.3%、農村は 0.7%それぞれ下がった。

都市部住民 1 人当たり可処分所得は 9.3%増の 1 万 2973 円で、物価要因を除く実質伸び率は 10.5%増である。農村住民の現金収入は 8.5%増の 4307 円で、実質伸び率は 9.2%増だった。